

精選現代の国語	単位数	2単位	学科・学年・学級	
---------	-----	-----	----------	--

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「精選現代の国語」（現国 702）
副教材など	「精選現代の国語 学習課題ノート」（準拠ノート）／「新総合図説国語」／「ジャンプアップ高校漢字問題集 改訂版」／「常用漢字の標準演習 改訂版」／その他、Dマークコンテンツ（教科書）、指導用DVD-ROM収録の補助資料など

3 評価の3観点と学習指導要領との対応

平成30年告示の学習指導要領では、評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つとなった。

学習指導要領との対応は以下のとおりである。

- ・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
- ・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の2つの側面を評価することが求められている。
 - ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
 - ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

4 「年間指導計画例」の見方

本資料の各項目の概要は、以下のとおりです。

《薄いグレーの見出し》

- ・学期と各編の単元番号と名称，配当月を示した。

《領域・教材名・ページ数・配当時数》

- ・領域（話す・聞く／書く／読む），教材名，ページ数，配当時数を示した。

《学習指導要領との対応》

- ・学習指導要領の指導事項や言語活動例との対応を示した。

記号の意味

[知技] …… 「知識及び技能」の指導事項

[思判表] …… 「思考力，判断力，表現力等」の指導事項

Ⓜ …… 「思考力，判断力，表現力等」の言語活動例

《学習目標》

- ・附録「この教科書で学ぶこと」に掲載の学習目標を示した。

《学習活動例》

- ・配当時数の中で考えられる学習活動の例を示した。

記号の説明

* …… 指導上の留意点や別案

Ⓜ …… D マークコンテンツの活用

《評価規準例》

- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による評価規準例を示した。
- ・「知識・技能」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔知識及び技能〕の指導事項の文言をそのまま用いて，文末を「～している。」とした。
- ・「思考・判断・表現」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔思考力，判断力，表現力等〕の指導事項の文言をそのまま用いて，冒頭を「（領域名）において，」として領域を明示し，更に文末を「～している。」とした。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準例は，扱っている全ての指導事項について設定した。

・「主体的に学習に取り組む態度」は、次の4つの内容を全て含め、各教材の目標や学習内容等に応じて、その組み合わせを工夫しながら設定している。また、文末は「～しようとしている。」とした。

- ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く等〉
- ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉
- ③他の2観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
- ④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

記号の意味

[知技] …… 「知識・技能」の評価規準例

[思判表] … 「思考・判断・表現」の評価規準例

[主] …… 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準例

◆年間指導計画例

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領と の対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ 1 学期				
1 自己と他者 (4～5月)				
読む まだ知らない自分に出 会う P 6 1 時間	[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読む こと(1)ア	・自己の体験に照ら しながら評論を読 み, 読書や対話の持 つ創造性について 考える。	<第1時> 1 対話についての考え方に注意しながら, 本文を通読す る。(手引き1) 2 筆者の考える読書が, どのようなものであるかを理解 する。(手引き2) 3 「対話は不完全なコミュニケーションだ。」といえる 理由を理解し, まとめる。(手引き3・4) 4 本文の論旨をもとに「まだ知らない自分に出会う」機 会について読み取り, まとめる。(手引き5) 5 人との対話によって「まだ知らない自分」に出会った エピソードを簡潔にまとめ, 話し合う。(言語活動)	[知技] ・言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解 している。 ・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文 章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必 要な語句の量を増すとともに, 語句や語彙の構造や特 色, 用法及び表記の仕方などを理解し, 話や文章の中 で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしてい る。 ・文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につ いて理解している。 [思判表] 「読むこと」において, 文章の種類を踏まえ て, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に 的確に捉え, 要旨や要点を把握している。 [主] 進んで対話を持つ双方向のコミュニケーションの 意味を理解し, 学習課題に沿って自分の読書経験を振 り返り, 対話によって「まだ知らない自分」に出会っ た経験を話し合おうとしている。
読む 届く言葉 P12	[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読む こと(1)ア	・相手に「届く言葉」 とそうでない言葉 の違いについて, 対 比的に書かれた評 論を読み取る。	<第1時> 1 対比的に用いられている言葉の意味を押さえながら, 本文を通読する。(手引き1) 2 評論の読み方のポイントを押さえる。評論で論じられ ている内容の理解を深めるために現代の問題に関心	[知技] ・言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解 している。 ・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文 章の中で使っている。

<p>▼評論の読み方</p> <p>P18 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, オ, カ / (2)ア [思判表] 読むこと(1)イ</p>	<p>・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。</p>	<p>を持ち、自分自身のこととして積極的に向き合う姿勢を養う。(評論の読み方)</p> <p><第2時></p> <p>1 『はやぶさ』プロジェクトの説明のうまさ』について読み取り、まとめる。(手引き2・3-1)</p> <p>2 「内向きの言葉」と「外に向かう言葉」について読み取り、まとめる。(手引き3-2・4)</p> <p>3 「届く言葉」について、本文のテーマをもとに読み取り、まとめる。(手引き3-3・5)</p>	<p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。</p> <p>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く評論の文章構造や対比関係を捉え、学習課題に沿って評論の理解を深め、現代の話題や問題に関心を持つようとしている。</p>
<p>話す・聞く 分かりやすい説明をする</p> <p>P22 4時間</p>	<p>[知技] (1)イ, エ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)イ, ウ ④話すこと・聞くこと(2)イ</p>	<p>・目的や相手に合った分かりやすい説明をする。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 『夏休みをどのように過ごしたか』の説明」A・Bを比べる活動を通して、「分かりにくい説明」と「分かりやすい説明」の違いを考える。</p> <p><第2時></p>	<p>[知技]</p> <p>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中</p>

			<p>1 「目的意識」「論理性」「相手意識」の三つの観点から「分かりやすい説明」のポイントを理解する。</p> <p>2 「自分の学校の行事を説明する」という設定で、「説明内容を整理する手順」に従って、「リストアップ」「カテゴライズ」「ナンバリング」の順に説明内容を整理する。</p> <p><第3時></p> <p>1 整理した「自分の学校の行事」について、3人程度のグループに分かれてロールプレー(役割演技)を行う。 「ロールプレーの仕方の例」を参考に交代で行い、聞き手役は相互評価表を書く。</p> <p>2 グループでの説明を振り返り、相互評価表などをもとに評価点、改善点などを話し合う。</p> <p><第4時></p> <p>1 「課題」(P26)の中から一つを選び、これまで学習した手順に従って、課題に即したロールプレーを行う。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 <p>[主] 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。</p>
<p>書く 手順を整理して正確に伝える</p> <p>P29 4時間</p>	<p>[知技] (1)ウ, オ / (2)イ</p> <p>[思判表] 書くこと(1)ウ, エ</p> <p>⑧ 書くこと(2)イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を分かりやすく整理し、表現を検討して手順書を書く。 	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「カレーの作り方」の手順書を作成した例を参考に、手順書の作り方を理解する。</p> <p>3 「課題」(P34)の中から一つを選び、何についての手順書を作るかを定める。</p> <p>4 伝えるべき手順を示す形式としてフローチャート形</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <p>[思判表]</p>

			<p>式や表形式などがあることを確認し、どのような形式で手順書を作るかを考える。</p> <p><第2時></p> <p>1 手順書を作るために、必要な情報を書き出す。 2 カテゴリー、ナンバリング、階層化によって情報を分類し、手順書の大まかな流れを作成する。付随情報の処理についても考える。</p> <p><第3時></p> <p>1 手順書の読み手を想定し、表現の言い換えや、情報の追加、省略などを検討する。 2 検討内容を踏まえて、手順書を作成する。</p> <p><第4時></p> <p>1 グループに分かれて手順書を読み合い、改善点を探して助言し合う。 2 助言を踏まえ、手順書を修正する。 3 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* D この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p>[主] 積極的に手順書の特徴を理解し、学習課題に沿って整理した情報を正確に伝えられるようにまとめようとしている。</p>
--	--	--	--	--

2 認識を深める（5～7月）

<p>読む 今ここにある無数の未知</p> <p>P36 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア</p>	<p>・ 辺境を旅した体験に基づく、筆者の「旅」についての主張を的確に読み取る。</p>	<p><第1時></p> <p>1 本文に述べられているさまざまな旅について考えながら、本文を通読する。(手引き1) 2 「辺境」の旅の体験を通して筆者が考えたことを読み取り、まとめる。(手引き2-1) 3 「本来の旅」の在り方をさまざまな旅と比較しながら読み取り、まとめる。(手引き2-2) 4 「無数の未知を発見する旅」について、本文の論旨</p>	<p>[知技]</p> <p>・ 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしてい</p>
--	--	--	---	--

			をもとに読み取り，まとめる。(手引き3・4)	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>【思判表】「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。</p> <p>【主】積極的に筆者が考えたことを理解し，学習課題に沿って表現に託された意味を捉え，自己との関係の中で，世界についての考えを深めようとしている。</p>
<p>読む 不思議な拍手</p> <p>P41 1時間</p>	<p>【知技】(1)ア，ウ，エ，オ 【思判表】読むこと(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事実と推測部分に注意して論の展開をつかみ，人の心の動きに関する筆者の主張を読み取る。 	<p><第1時></p> <ol style="list-style-type: none"> 出来事に即し，筆者はどのように考えを進めているか注意して，本文を通読する。(手引き1) カワカベさんの「拍手」について，筆者が感じたり推測したりしたことを読み取り，まとめる。(手引き2・3) この拍手について，筆者が捉えようとしていることを理解する。(手引き4) 推測したことを前提に考えを進めたとき，カワカベさんの「拍手」について，筆者が新たに感じ，考えたことを読み取り，まとめる。(手引き5・6) 	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに，語句や語彙の構造や特色，用法及び表記の仕方などを理解し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>【思判表】「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している。</p> <p>【主】積極的に場面の様子を捉え，学習課題に沿って考えの進め方を整理し，本文中に挙げられている実験から，筆者が推測していることを理解しようとしている。</p>
<p>読む 水の東西</p>	<p>【知技】(1)ア，ウ，エ，オ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「水」を巡る日本と西洋の文化の比較 	<p><第1時></p> <ol style="list-style-type: none"> 「鹿おどし」と「噴水」の違いに着目して全文を通読 	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には，認識や思考を支える働きがあることを理解

<p>◆思考への扉1 ——文化の東西</p>	<p>P50 [思判表] 読むこと(1)ア</p> <p>[知技] (1)ア／(3)ア</p> <p>P56 2時間 [思判表] 読むこと(1)イ</p>	<p>を通じて、日本文化の特質について理解を深める。</p> <p>・書かれている内容を理解し、「水の東西」を読み深める。</p>	<p>する。(手引き1)</p> <p>2「鹿おどし」の具体的な動きと、「鹿おどし」を見て筆者が感じ取ったことを表現に即して読み取る。(手引き2-1)</p> <p>3「鹿おどし」に対するニューヨークの人々の反応と西洋の噴水の様子を表現に即して読み取る。</p> <p>4日本人が噴水を作らなかった理由をつかみ、「鹿おどし」(日本人)と「噴水」(西洋人)の水に対する捉え方の違いを理解する。(手引き3-1)</p> <p><第2時></p> <p>1水に対する日本人の感性を筆者の考え方に沿って捉え、日本人の感性の特質と「鹿おどし」の関係を理解する。(手引き2-2・3-2・4)</p> <p>2「水の東西」の理解を深めるために「思考への扉1——文化の東西」を通読する。(思考への扉1——文化の東西)</p> <p>3日本文化について興味や関心を持ったことを、二分程度でスピーチする。(言語活動)</p>	<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>[主] 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。</p>
<p>話す・聞く 発想を広げて課題を見つける</p>	<p>P57</p> <p>[知技] (2)イ</p> <p>[思判表] 話すこと・聞くこと(1)ア、イ</p> <p>④話すこと・聞くこと(2)ウ</p>	<p>・発想を広げてアイデアを整理し、的確に伝える。</p>	<p><第1時></p> <p>1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2情報を探索するための図書館の利用法について、確認する。(図書館の利用法)</p> <p>3思考・発想を広げる方法にはどのようなものがあるか、確認する。更に、「マッピング」を使った活動の</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、

<p>▼図書館の利用法 P73 4時間</p>	<p>[知技] (2)イ／ (3)ア [思判表] 話す こと・聞くこ と(1)ア</p>	<p>・図書館の利用法を 学び、適切に利用で きるようにする。</p>	<p>例と、「ブレインストーミング」と「カードによるグルーピング」を使った活動の例を参考に、学習の進め方を理解する。</p> <p>4 「課題」(P64)の中から一つを選び、思考・発想を広げる方法として何を使うかを定める。ただし、以下では「ブレインストーミング」と「カードによるグルーピング」を使った発表活動を例として取り上げる。 * 「マッピング」を使った活動と、「ブレインストーミング」と「カードによるグルーピング」を使った活動の両方を取り上げ、順に取り組んでもよい。</p> <p>5 どのような題材について話し合うか、各自で題材案を考え、グループで検討し、題材を決める。</p> <p>6 次時までには図書館を活用し、題材に関する情報を調べておく。</p> <p><第2時></p> <p>1 前時で決めた題材についてブレインストーミングを行うために、「ブレインストーミングのルール」を確認し、『(1)出す・広げる』の例を参考に話し合いの具体的なイメージを持つ。</p> <p>2 思いつくまま題材についてのアイデアを出し合う。出されたアイデアは、その場で付箋に書き、台紙に貼っていく。</p> <p><第3時></p> <p>1 前時に貼り付けた付箋について、類似性や共通項に注目し、「グルーピングの観点の例」などを参考に分類・整理する。</p> <p>2 グループ分けした付箋にタイトルを付け、「関係付ける視点の例」を参考に、相互の関係性が分かるように矢印などを書いて台紙に配置する。</p> <p>3 グルーピングの結果を踏まえ、「発表の構成例」を参考に、五分程度のスピーチとしてまとめる。</p>	<p>実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>[主] 進んでテーマを考え、学習課題に沿って発想を広げて整理して、発表する活動をしようとしている。</p>
---------------------------------	--	---	--	---

			<p><第4時></p> <p>1 各グループの話し合いの成果を発表し合い、クラス全体で共有する。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
<p>書く 新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる</p> <p>P65 5時間</p>	<p>[知技] (1)ウ, オ / (2)オ</p> <p>[思判表] 書くこと(1)ア, イ</p> <p>話 書くこと(2)ア</p>	<p>・ 読んだ文章から問いを作り、構成を工夫して意見をまとめる。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読んで、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「課題」(P72)の中から一つを選び、どのような活動を行うかを確認する。</p> <p>3 グループごとに、複数の新聞記事に目を通し、興味のある新聞記事を探し、選ぶ。</p> <p>4 インターネットを利用し、興味のある新聞記事に関する情報を探す。</p> <p><第2時></p> <p>1 新聞記事の割り付けを参考に、「記事情報カード」に記入しながら、選んだ記事の内容を整理する。</p> <p><第3時></p> <p>1 QFTによる七段階からなる問い作りの方法を確認するとともに、「問いの焦点」を定め、問い作りのルールを確認する。</p> <p>2 グループごとに、記事情報カードをもとに、QFTによる「問い」を作る。</p> <p><第4時></p> <p>1 問いに優先順位を付けて、最終的に一つに絞り、選ぶ理由をグループ内で話し合う。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・ 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 <p>[主] 積極的に情報の収集や整理をし、学習課題に沿って伝える相手の理解が得られるように、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を意識して、自分の意見を文章としてまとめ、グループ内で話し合おうとしている。</p>

			<p>2「記事情報カード」を活用し、選んだ問いをもとに意見をまとめ、意見文を書く。</p> <p><第5時></p> <p>1「意見をまとめる」という活動をするうえで、QFTの(1)～(6)の各プロセスは適切にこなせたのかを振り返り、グループ内で、できたこと、できなかったことを話し合う。</p> <p>2「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
--	--	--	---	--

■ 2 学期

3 言葉と社会（9～10月）

<p>読む 言葉は世界を切り分ける</p> <p>P78 1時間</p>	<p>[知技] (1)ア、ウ、エ、オ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア、イ</p>	<p>・他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにする。</p>	<p><第1時></p> <p>1 具体例と筆者の主張の関係を押さえながら、本文を通読する。（手引き1）</p> <p>2 本文を読んで、印象に残った表現、文章の構成の仕方などについて気づいたことを挙げる。</p> <p>3 外国語でコミュニケーションを取ることの難しさについて、具体的に読み取り、まとめる。（手引き2）</p> <p>4 言葉の「『面』としての意味」について、具体例を踏まえて読み取り、まとめる。（手引き3）</p> <p>5 異なる言語が世界を異なる仕方で分節することについて、具体例を踏まえて読み取り、まとめる。（手引き4）</p> <p>6 第四段が第一段でなされた問題提起に対する回答となっていることを読み取り、まとめる。</p> <p>7 言葉の働きについて、筆者の主張を踏まえて、考えたことをまとめる。（手引き5）</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。
--	--	---	---	--

				<p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く言葉の意味への理解に努め、学習課題に沿って筆者の主張を踏まえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>読む まちの豊かさとは何か P85</p> <p>◆思考への扉2 ——コミュニティのこれから P103 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読む こと(1)ア</p> <p>[知技] (1)ア/ (3)ア [思判表] 読む こと(1)イ</p>	<p>・「豊かさ」とは何かについて書かれた評論を読み、その考え方の違いについて理解を深める。</p> <p>・書かれている内容を理解し、「まちの豊かさとは何か」を読み深める。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「豊かさ」についての考え方に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 ワークショップでの経験を通して、コミュニティに対する筆者の考え方がどう変化したかを読み取り、まとめる。(手引き2)</p> <p><第2時></p> <p>1 「豊かさ」についての考え方の変化によって、「デザイナーの仕事」がどう変化したかを読み取り、まとめる。(手引き2・3)</p> <p>2 「まちづくり」における「豊かさ」とはどういうことか、「豊かなまち」をつくるためには何が必要かを読み取り、まとめる。(手引き3・4)</p> <p>3 「コミュニティ」についての理解を深めるために「思考への扉2——コミュニティのこれから」を通読する。(思考への扉2——コミュニティのこれから)</p> <p>4 「豊かさ」について各自考えたことを、討論する。(言語活動)</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p>

				[主]進んでコミュニティでの活動について筆者の考えを読み取り,今までの学習を生かして人間や社会にとって「豊かさとは何か」について考えを深め,自分の考えを討論しようとしている。
読む 時間と自由の関係について P93 1時間	[知技](1)ア, ウ, エ, オ [思判表]読むこと(1)ア ㊦読むこと(2)ア	・時間と自由の関係についての筆者の主張を的確に読み取り,必要に応じてその内容を要約する。	<第1時> 1 「時間の自由」「自由な時間」について,日頃考えていることを挙げる。 2 筆者が,二種類の「時間の自由」,また「二つの時間」について論じていることを理解しながら,本文を通読する。(手引き1・2) 3 段に分けて全体の構成と展開を把握する。 4 現代の「時計に支配された世界としての学校」と,かつての「時計のない学校」との違いを具体的につかむ。 5 学校教育と労働における時間に関する価値基準の転換をつかむ。(手引き4) 6 二種類の「時間の自由」を説明し,「外部化された時間」とは何かを確認する。(手引き3-1) 7 「二つの時間」と「老人」の話とのつながりを確認し,「いまを生きているという時間」は人間を平等にし,創造を与えていることを読み取る。(手引き5) 8 現代人の時間の在り方について,筆者がどのように捉えているのかを説明する。 9 「自由」とは何かを改めて考え,人間の自由と時間の関係について考える。(手引き6) 10 「もしかすると,…」(九六・5)から「…ならなかったのである。」(九七・1)までについて,筆者の主張を要約し,その主張に対する自分の考えを書く。(言語活動)	[知技] ・言葉には,認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ,主な常用漢字を書き,文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに,語句や語彙の構造や特色,用法及び表記の仕方などを理解し,話や文章の中で使うことを通して,語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文,話,文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 [思判表]「読むこと」において,文章の種類を踏まえて,内容や構成,論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え,要旨や要点を把握している。 [主]粘り強く二種類の「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し,学習課題に沿って人間の自由と時間について,筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。
話す・聞く	[知技](1)イ, オ	・話の構成や,紹介の	<第1時>	[知技]



<p>本を紹介する</p> <p>P 104 4 時間</p>	<p>／(3)ア 【思判表】 話すこと・聞くこと(1)イ, ウ ㊦話すこと・聞くこと(2)ア</p>	<p>仕方を工夫して話す。</p>	<p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 紹介する本のジャンルを選択するとともに、「課題」(P107)の中から一つを選び、お薦めの本をいくつか挙げて、「私のお薦め本リスト」を作る。</p> <p><第2時></p> <p>1 ジャンルごとに班を作り、各自で紹介の準備や練習をする。</p> <p>2 選んだ本を班の中で紹介し合い、班として紹介する本を決める。</p> <p><第3時></p> <p>1 班として紹介の準備をする。</p> <p><第4時></p> <p>1 クラス全体に、班として本を紹介する。聞き手は「聞き取りメモ」を参考に、メモを取りながら聞く。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>*㊦この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思判表】</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。</p> <p>【主】積極的にお薦めの本を挙げ、学習課題に沿って紹介の準備をし、本を紹介する活動をしようとしている。</p>
<p>書く 調べた情報を説明資料にまとめる</p> <p>P 108</p> <p>▼グラフや写真の読み取り方</p> <p>P 115</p>	<p>【知技】(1)ウ, オ ／(2)イ 【思判表】 書くこと(1)ア, エ ㊦書くこと(2)ウ 【知技】(2)イ 【思判表】 書くこと(1)ア</p>	<p>・情報の信頼性を吟味し、伝える相手や目的に応じてまとめる。</p> <p>・グラフや写真の読み方を理解し、情報を適切に読み取れる。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「海外留学説明会」の資料を作成した例を参考に、説明資料の作り方を理解する。</p> <p>3 「課題」(P114)の中から一つを選び、どのような説明資料を作るかを決める。</p> <p>4 調べるべき情報の項目をリストアップする。</p> <p><第2時></p>	<p>【知技】</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</p> <p>【思判表】</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信</p>

6 時間		<p>るようにする。</p>	<p>1 前時に挙げた情報の項目を、分類・整理する。 2 情報を収集・活用するために、グラフや写真の読み取り方を理解する。(グラフや写真の読み取り方)</p> <p><第3時></p> <p>1 前時に整理した情報の項目ごとに、手持ちの資料を読み返したり、図書資料やインターネットのウェブサイト等を活用したりして、情報を集める。 2 調べて分かったことを「情報カード」にまとめていく。 3 「情報カード」に記入した情報を、「情報の発信者」「情報の信頼性」「情報の新しさ」「情報の分かりやすさ」の四つの観点から吟味する。</p> <p><第4時></p> <p>1 資料の読み手や目的に応じて、内容や全体の構成を考えて、説明資料にまとめる。</p> <p><第5時></p> <p>1 伝える相手や目的を意識して、文章全体を整え、完成させる。</p> <p><第6時></p> <p>1 グループに分かれて説明資料を読み合い、資料の作成過程で生じた困難や浮かんだ疑問・気づき等を話し合う。 2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* D この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p>[主] 積極的に説明資料の作成に必要な情報を収集、整理し、学習課題に沿って伝える相手や目的を意識した説明資料を作成する活動をしようとしている。</p>
4 共に生きる (11~12月)				
読む 真の自立とは	[知技] (1)ア, ウ, エ, オ	・「自立」の在り方について考察する評	<p><第1時></p> <p>1 二つの意味段落の内容を押さえながら、本文を通読す</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解</p>

<p>P 120 1 時間</p>	<p>【思判表】読むこと(1)ア, イ ㊦ 読むこと(2)イ</p>	<p>論を読み, 自分の考えを持ち, 視野を広げる。</p>	<p>る。(手引き 1) 2 現代社会における「できる」「できない」の構造と, それが生に及ぼしている影響について読み取り, まとめる。(手引き 2・3) 3 筆者の主張する「自立」について, 現代社会で混同して使われている「独立」という言葉との違いも踏まえて読み取り, まとめる。(手引き 4・5) 4 現代における「若い」や『大人』になることについて, 筆者の言う「自立」という観点から考え, 話し合う。(手引き 6) 5 「私たちが…真の自立を身につけていくことではないでしょうか。」という筆者の問いかけについて, 考えたことを六百字程度の文章にまとめる。(言語活動)</p>	<p>している。 ・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに, 語句や語彙の構造や特色, 用法及び表記の仕方などを理解し, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文, 話, 文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え, 要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において, 目的に応じて, 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら, 内容や書き手の意図を解釈したり, 文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに, 自分の考えを深めている。 【主】積極的に現代の状況に関心を持ち, 筆者が述べる内容を理解し, 自分の考えを深め, 今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで, 自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>読む 自立と市場 P 127 1 時間</p>	<p>【知技】(1)ア, ウ, エ, オ 【思判表】読むこと(1)ア, イ ㊦ 読むこと(2)イ</p>	<p>・比喩や具体例に注意して内容を読み取り, 自立とそれを支えるものの関係について考えを深める。</p>	<p><第 1 時> 1 筆者の考える「自立」と「市場」の関係に注意しながら, 本文を通読する。(手引き 1) 2 熊谷さんがどのような人物であるのかを読み取る。 3 「太いが切れたら終わる一本の命綱に頼っていた」という比喩は「熊谷さんと母親」「小十郎と商人」, それぞれにおいてどのような関係だったことを表しているかを理解する。(手引き 2-1・2-2)</p>	<p>【知技】 ・言葉には, 認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ, 主な常用漢字を書き, 文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに, 語句や語彙の構造や特色, 用法及び表記の仕方などを理解し, 話や文章の中</p>

			<p>4 熊谷さんが考えている「自立」の状態を読み取る。(手引き3)</p> <p>5 筆者の主張を踏まえ、「自立」と「依存」の関係について具体例を挙げて考える。</p> <p>6 筆者は、「市場」の評価すべき点と注意すべき点をどのように捉えているのか、読み取り、整理する。(手引き4)</p>	<p>で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>【主】 積極的に「自立」と、その対極である「依存」について筆者の考えを読み取り、理解を深め、学習課題に沿って実社会における「市場」の評価すべき点と注意すべき点をまとめようとしている。</p>
<p>読む 共鳴し引き出される力 P132</p> <p>▼文章を読み比べるために P136 2時間</p>	<p>【知技】 (1)ア, ウ, エ, オ 【思判表】 読むこと(1)ア, イ ㊦ 読むこと(2)イ</p> <p>【知技】 (2)ア, ウ 【思判表】 読むこと(1)イ ㊦ 読むこと(2)イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紹介されている体験談を踏まえて、「能力」に関する筆者の考えを読み取る。 文章の読み比べ方を学び、比較する方法を理解する。 	<p><第1時></p> <p>1 筆者の「能力」の捉え方に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 丹野さんの考えたことから導かれる「ラディカルな発想の転換」を理解し、まとめる。(手引き2)</p> <p>3 筆者が、「能力」とは個人に属するものであるかどうかという視点から疑問を呈していることを確認する。</p> <p>4 全盲のランナーと目の見える伴走者の例から『共鳴』の「感覚」について読み取り、まとめる。(手引き3)</p> <p><第2時></p> <p>1 「予防」と「予備」についての筆者の捉え方を読み取り、まとめる。(手引き4)</p> <p>2 「他者の力を巧みに取り込み、自分をネットワーク化</p>	<p>【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すと同時に、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。

			<p>して生きる人たちが「身をもって示す能力の定義」が、どのようなものであるか理解し、まとめる。(手引き5)</p> <p>3「三角ロジック」の考え方で意見を整理する方法を理解し、「共鳴し引き出される力」では、どのような具体例をデータとして用い、どのように「理由付け」をしているかを分析し、まとめる。(文章を読み比べるために)</p>	<p>・推論の仕方を理解し使っている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く筆者の捉える「能力」について理解を深め、今までの学習を生かして同じテーマの文章を読み比べ、自分の意見を整理しようとしている。</p>
<p>書く 異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く</p> <p>P139</p> <p>▼引用の方法</p> <p>P150 7時間</p>	<p>[知技] (1)ア, オ / (2)ア</p> <p>[思判表] 書くこと(1)ア, イ</p> <p>④書くこと(2)ア</p> <p>[知技] (2)エ, オ</p> <p>[思判表] 書くこと(1)ウ</p>	<p>・読み比べて考えを明確にし、伝わりやすい構成で書く。</p> <p>・引用の方法を学び、適切に引用できるようにする。</p>	<p><第1時></p> <p>1「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2「読書について書かれた文章」A～Cを読み比べて意見文をまとめた例を参考に、読み比べて自分の意見を書く方法を理解する。</p> <p>3「課題」(P143)の中から一つを選び、テーマに沿った本を図書館で3冊程度探す。</p> <p><第2時></p> <p>1「メモの例」を読み、読み比べた文章の内容や自分で考えたことを簡潔にメモする方法を確認する。</p> <p>2 1冊目の本を読み、「メモの例」を参考にし、まとめる。</p> <p><第3時></p> <p>1 2冊目の本を読み、「メモの例」を参考にし、まとめる。</p> <p><第4時></p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。</p>

			<p>1 3冊目の本を読み、「メモの例」を参考にし、まとめる。</p> <p><第5時></p> <p>1 「構成案の例」を読み、メモを参考にしながら、意見文の構成を考える。</p> <p>2 意見文を書くにあたり、引用の方法や出典の示し方などについて理解する。(引用の方法)</p> <p><第6時></p> <p>1 決めた構成をもとに、意見文を完成させる。</p> <p><第7時></p> <p>1 グループに分かれて意見文を読み合う。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>*  この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>[主] 積極的にテーマに沿った本を探し、学習の見通しをもって異なる主張の文章を読み比べ、自分の考えが読み手に伝わるように意見文としてまとめようとしている。</p>
<p>話す・聞く 情報を整理しながら話し合う</p> <p>P144 3時間</p>	<p>[知技] (2)エ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)エ、オ  話すこと・聞くこと(2)ウ</p>	<p>・話し合いの進め方を工夫し、考えを深める。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 話し合いには種類があることを理解し、「S高校の生物部」の話し合いの例を参考に、「企画会議」の進め方を確認する。</p> <p>3 「課題」(P149)の中から一つを選び、グループに分かれて司会や記録係などの役割を分担し、話し合いの目的と、必要とする事前準備を確認のうえ、次時までに必要なアイデア案などを考えてくる。</p> <p><第2時></p> <p>1 グループで、各自のアイデア案の概要を確かめるとともに、時間配分などの話し合いの進め方を確認する。</p>	<p>[知技] 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</p> <p>[主] 積極的に「企画会議」の進め方に沿って論点を共有し、学習の見通しをもって提案内容を整理しながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫しようとする。</p>

			<p>2 提案者が各案を説明し、質疑応答をしながら検討事項を表に整理し、話し合う。</p> <p>3 話し合いの結果、決まったことや今後の課題を整理し、確認する。</p> <p><第3時></p> <p>1 前時の話し合いについて、「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>2 グループごとに、話し合いの結果をクラス全体に発表し、成果と課題を共有する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>ている。</p>
--	--	--	--	-------------

■ 3 学期

5 世界を広げる（1～3月）

<p>読む 「無駄」と進化 P156 1時間</p>	<p>[知技](1)ア、ウ、エ、オ [思判表]読むこと(1)ア、イ</p>	<p>・事例に即して内容を正確に読み取り、遺伝システムにおける変異の意義を理解する。</p>	<p><第1時></p> <p>1 『無駄』と進化』というタイトルに注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 「不均衡進化論」とは、どのような説で、どのようなところがすばらしいかを読み取り、説明する。(手引き2)</p> <p>3 「現代の進化学」の教えと、「通常イメージされている、適応的な変化」との違いを理解しながら、『無駄』な変異』を起こし、筆者が考える「許容すること」の大切さと、その理由を読み取り、まとめる。(手引き3・4)</p> <p>4 放射線に強い細菌が、放射線量の高い場所に住んでいるわけではないことを、筆者が強調する理由を理解しながら、「生命という現象」についての考えを読み取り、まとめる。(手引き5・6)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。
--	---	--	---	---

				<p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く筆者が挙げた事例の意味を読み解き、今までの学習を生かして筆者の意図を正しく理解しながら、自分の考えをまとめようとしている。</p>
<p>読む 人工知能はなぜ椅子に座れないのか P162 2時間</p>	<p>[知技](1)ア, ウ, エ, オ [思判表]読むこと(1)ア, イ</p>	<p>・人工知能に関して人間と比較しながら論じた評論を読み、両者の違いについて考える。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「コミュニケーション」「意図」「意味」「物語」などの語句に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 コミュニケーションに関する、「クロード・エルウッド・シャノンらの考え方」とはどのようなものかを読み取り、まとめる。(手引き2)</p> <p>3 「特徴を表現するという方法」に欠けている「重要な視点」とは何か、また、それが「『意図』」についての理解」とどのように結び付いているかを読み取り、まとめる。(手引き3・4)</p> <p><第2時></p> <p>1 「場」と「身体」との関係に注意しながら、「こうした考え方」が、どのような考え方を指しているかを読み取り、まとめる。(手引き5)</p> <p>2 「『自らの人生を生きる』という行為」は、「人間や生物にのみ許された行為である」と筆者が考える理由を、「人工知能」との対比を踏まえて理解し、まとめる。(手引き6)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>[主] 粘り強く筆者が説く人間と人工知能の比較について理解し、今までの学習を生かして筆者が考える「自</p>

				分の人生を生きる」行為について読み取り、自分の考えを深めようとしている。
読む 白	P 171 [知技](1)ア, ウ, エ, オ [思判表]読むこと(1)ア ㊦ 読むこと(2)ア	・「白」に表される、情報に対する意識についての筆者の考えを、独自の表現に注意して読み取る。	<第1時> 1 本文に述べられている「白」の持つ意味について考えながら、本文を通読する。(手引き1) 2 「白」が人間の意識に及ぼしている影響について読み取り、まとめる。 3 「推敲」という美意識を手がかりに筆者の言う「白という感受性」とはどのようなものかを読み取り、まとめる。(手引き2)	[知技] ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。
◆思考への扉3 ——人間の境界	P 178 2時間 [知技](1)ア/(3)ア [思判表]読むこと(1)イ	・書かれている内容を理解し、「白」を読み深める。	<第2時> 1 「人間の境界」を通読したうえで、インターネットが生み出す「新たな知の基準」と「推敲」の美意識との違いを読み取り、まとめる。(思考への扉3——人間の境界・手引き3) 2 『徒然草』の例によって示された「白」の持つ意味を、本文の論旨をもとに読み取り、まとめる。(手引き4) 3 筆者の言う「白という感受性」とインターネット時代の感受性を比較し、意見文を書く。(言語活動)	[思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 [主] 積極的に筆者の示す「白」について理解を深め、今までの学習を生かして「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめようとしている。
書く 論証してレポートを書く	[知技](1)ウ, オ /(2)ウ	・論点を整理して論証し、レポートの形	<第1時> 1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見直しを持	[知技] ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文

<p>く</p> <p>P179 8時間</p>	<p>[思判表]書くこと(1)イ, ウ ④書くこと(2) ウ</p>	<p>式で書く。</p>	<p>つ。</p> <p>2 レポートの種類を理解し、「成人式」をテーマに論証型レポートを書いた例を参考に、レポートの書き方を確認する。</p> <p>3 「課題」(P186)の中から、レポートのテーマとして一つを選ぶ。</p> <p><第2時></p> <p>1 選んだテーマに関して、百科事典やインターネット等を活用して予備調査を行う。</p> <p>2 テーマに関する問いをいくつか立てて、答えを想定する。</p> <p>3 レポートで取り上げる問いを決める。</p> <p><第3時></p> <p>1 「『小さな問い』の例」を参考に、自分の問いについての「小さな問い」をいくつか立てる。</p> <p>2 「小さな問い」を踏まえて、レポート全体で何をどう論証していけばよいのかを考え、論点を整理する。</p> <p><第4・5時></p> <p>1 「論証の方法」として教科書に挙げられている三つの方法を理解する。</p> <p>2 さまざまな論証の方法を組み合わせ、論証の結果を積み重ねる形で全体の答えを導く。</p> <p><第6・7時></p> <p>1 レポートを書くうえで一般的に必要なとされている形式を理解する。</p> <p>2 これまで調査し、考えてきたことをもとに、レポートを書く。</p> <p><第8時></p> <p>1 書き終えたレポートを読み直したり、第三者に読んでもらったりして、推敲や修正を行う。</p>	<p>章の中で使っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 推論の仕方を理解し使っている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるときも、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 <p>[主] 進んでテーマに関することを調べて問いを立て、学習の見通しをもって論点を整理し、論証を行ってレポートを書く活動をしようとしている。</p>
------------------------------	--	--------------	--	--

			<p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
<p>話す・聞く 探究したことを発信する</p> <p>P187</p> <p>▼探究学習へのアプローチ</p> <p>P195 5時間</p>	<p>[知技](1)イ, オ [思判表]話すこと・聞くこと (1)ウ, エ ④話すこと・聞くこと(2)エ</p> <p>[知技](1)ア [思判表]話すこと・聞くこと (1)ア</p>	<p>・発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。</p> <p>・探究学習の概要を理解する。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 探究学習の四つのステップと、その内容を確認する。 (探究学習へのアプローチ)</p> <p>3 「さまざまな発表の形式」を参考に、さまざまな発表の形式について確認する。また、「パラスポーツ」に関する「ポスターセッション」と「スライドを用いた発表」の例を参考に、具体的な発表の仕方を理解する。</p> <p>4 「課題」(P194)の中から発表の形式を一つ選ぶ。ただし、以下では「ポスターセッション」による発表活動を例として取り上げる。</p> <p>5 グループごとに、取り上げるテーマを設定する。</p> <p><第2・3時></p> <p>1 前時に設定したテーマについて、調べる切り口と内容を絞り込み、調査を行う。</p> <p>2 調査内容を模造紙などにまとめ、ポスターを作成する。その際、伝えたいことを明確に表現できるよう、タイトルの付け方や、記事・図表の配置などを工夫する。</p> <p><第4・5時></p> <p>1 「発表の構成例」を参考に、発表時間を5分として、発表する内容と時間配分を考える。</p> <p>2 グループごとに発表を行う。</p> <p>3 発表の後、質疑応答の時間を2分程度設ける。聞き手</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>[主] 進んで分かりやすい発表活動の準備に取り組み、学習課題に沿って聞き手が理解しやすいように発表を行おうとするとともに、他のグループの発表をしっかり聞いて理解を深めようとしている。</p>

			<p>は、「聞き方のポイント」を参考に、積極的な意見交換ができるようにする。</p> <p>4 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>* <input type="checkbox"/> D この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
--	--	--	---	--